

辰巳ダム水理模型実験検討会 議事要旨

【日時】

平成 18 年 3 月 2 日(木) 13:00 ~ 16:30

【場所】

模型実験会場 :(株)アイ・エヌ・エー 筑波研究所
打合せ会場 :筑波研究コンソーシアム 第3会議室

【出席者】

玉井 信行 委員長、北浦 勝 委員、 鐔 隆弘 委員、 橋本 澄夫 委員、
畦地 実 委員、 石井 達夫 委員、 野尻 安司 委員、 櫻井 寿之 委員代理
(計 8 名) (川村 國夫委員、山岸 政雄委員は欠席、吉田 等委員は櫻井代理)

【検討会概要】

1. 開会

・事務局より、開会の挨拶が行われた。

2. 模型実験視察

- 1) 洪水吐き～導流部～減勢工の最終形状の確認
- 2) 辰巳用水取水口への分流の流況

・平水時、洪水調節時(サーチャージ水位)、ダム設計洪水流量時(設計洪水位)の各流況について、上記内容の視察を行った。

3. 会議

- 1) 模型実験状況の映像記録の報告

・事務局より、過去の模型実験状況の映像記録について報告を行った。

- 2) 模型実験の視察をふまえた意見交換

・洪水吐き～導流部～減勢工の最終形状及び辰巳用水取水口への分流の流況等について各委員による質疑・意見交換がなされた。意見交換の内容については議事概要に示す。

- 3) 今後のスケジュール

・今後のスケジュールとして、デザイン素案の提示を行う第3回辰巳ダムデザイン検討委員会を5月下旬～6月上旬あたりに開催する予定である。

4. 閉会

・事務局より、閉会の挨拶が行われた。

【議事概要】

- ・事務局より、過去の模型実験状況の映像記録について説明がなされ、続いて、模型実験の視察をふまえた質疑・意見交換がなされた。
- ・各委員からの主な意見・質問は以下のとおり。
 - ・低水放流設備～ダム直下について、木を植える・石積み護岸等の対策が機能上も修景上も必要と考えられる。(北浦委員、鏑委員、玉井委員長)
 - ・堤体導流壁～堤趾導流壁の直角の折れ曲がりについて修景対策が必要と考えられる。(北浦委員、鏑委員、玉井委員長)
 - ・減勢工側壁についても、盛土で隠すなど修景対策が必要と考えられる。(鏑委員)
 - ・下段洪水吐の下流側の形状について、光の入りやすさなどをふまえた検討をしてはどうか。(鏑委員)
 - ・過去の実験では、アユなどに関しては比較的暗い箇所でも遡上する。(櫻井委員代理)
 - ・掘削残土処理について、場外搬出はないのか。(橋本委員)
 - ・上流河道の整正について、水理模型でも反映されるのか。(野尻委員)
 - ・今後、流木や転石対策について十分検討してほしい。(畦地委員、石井委員)
 - ・用水への水理上の影響の懸念はほとんどなくなった。(畦地委員)
- ・水理模型実験検討会のまとめが委員長から提示され、意見の一致を見た。
 - ・魚道の詳細な形やその周辺の修景課題は今後検討していく。
 - ・減勢工を短くする、左岸は直壁とするなど水理模型実験を踏まえて改良された形状を元としてデザイン検討を進めていく。
 - ・辰巳用水への分流の流況についても、水理上の用水への影響等の問題はほとんどないと考えられ、本日視察した形状を元とする。